

## ■組み立てられる方へのお願い

●本説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

**▲ 注意** ...取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害が想定されます。  
 冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲ 注意

●取付け可能な屋根勾配は、22°～31°(4.0～6.0寸勾配)です。この範囲外の原因となります。  
 ●雨漏りや水の浸入防止のため、本文中のシーリング箇所には、シーリング材を必ず塗布してください。

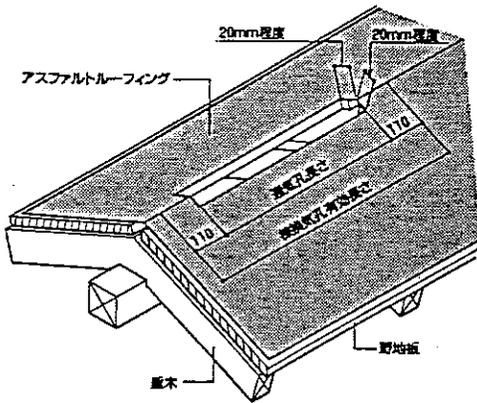
## ■取付け順序

### 1 通気孔の作り方

①野地板の棟部に下表を参考に通気孔を設けてください。

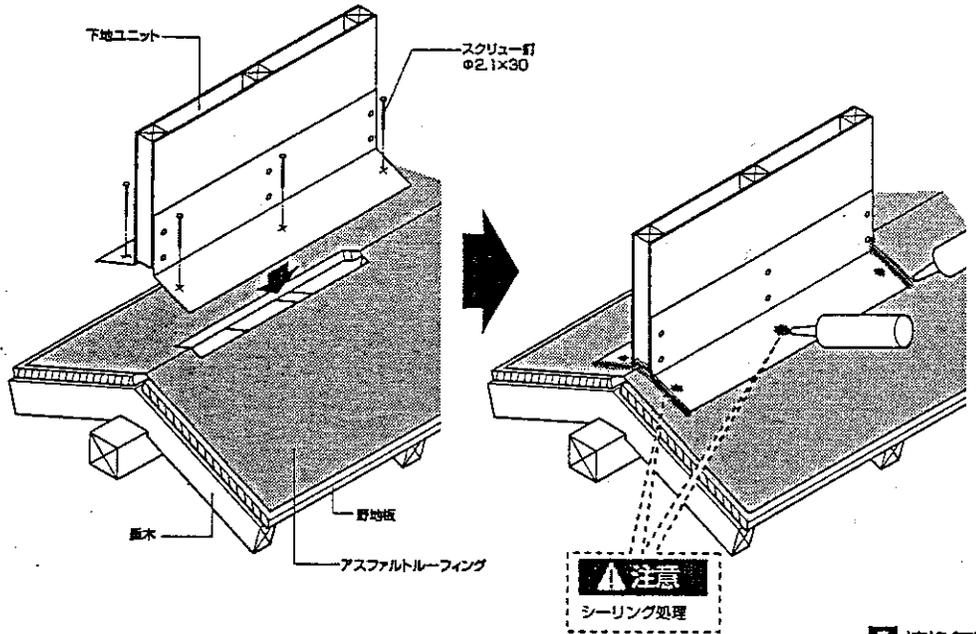
野地板寸法	棟換気孔有効長さ	通気孔長さ
45	1325mm	1105mm
60	1855mm	1635mm

- ②野地板を電動ノコギリ等で通気孔の大きさに切り欠きます。  
 ③アスファルトルーフィングを張り付けた後、棟部の野地板切り欠き部に合わせてカッターナイフ等で通気孔の大きさに切り取ります。



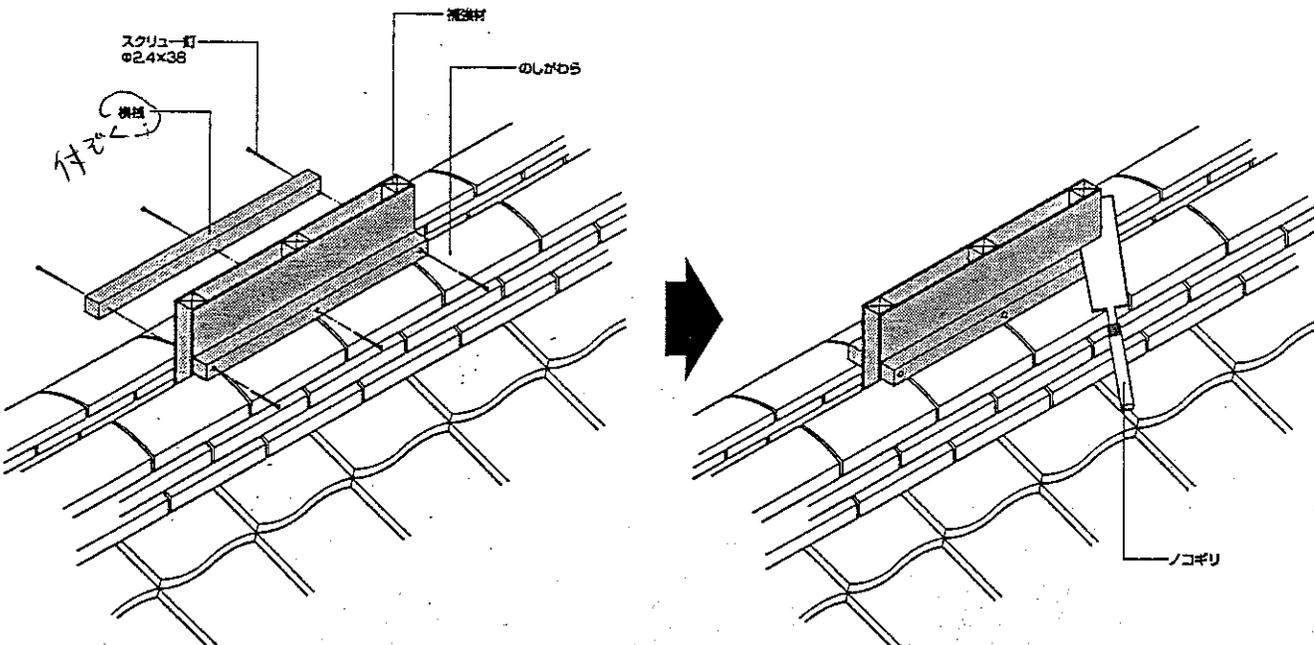
### 2 下地ユニットの取付け

- ①下地ユニットは、通気孔(棟芯)の中心に合わせ、両端末も均等になるようにして、垂木又は野地板に釘止めします。  
 ②下地ユニットの釘止めが完成したら、下地ユニットの端部、釘、ねじの頭部等を、シリコン系シーリング材で防水処理をします。  
 ※コーキングは、幅10mm・厚さ3mm以上の盛り込みにしてください。



### 4 下地ユニットの横棧の取付け

- ①横棧を下地ユニットの補強材に釘打ちします。  
 ②横棧の上端に合わせて下地ユニットをノコギリで切り落とします。



### 5 棟換気子

- ①本体は、下地ユニットの中心に合わせ、両端末も均等になるようにして、垂木又は野地板に釘止めします。  
 ②本体に合わせ、シリコン系シーリング材で防水処理をします。  
 ③丸がわらは、シリコン系シーリング材で防水処理をします。  
 ※系丸がわらは、幅10mm・厚さ3mm以上の盛り込みにしてください。

# 孔(B型) 取付け説明書

MAA-33B 2-970513.③.④

## ■組立て上のお願

付れて取り付けたら、結露水の室内への浸入や  
 充てんし、防水処理を行ってください。

- 本製品は、屋根水平標部に取り付けます。B型は、和がわら、五寸丸の丸がわら(ヒモ丸がわら・紫がわら)専用です。
- 有償部品で、下地ユニットを用意しています。
- 施工完了後、換気孔本体にガタ付きがないか、確認してください。

## 屋根材の施工……のしがわらぶきの場合

屋根材の施工(のしがわらぶき)をする前に、のしがわらを緊結するメタルラスを下地ユニットに釘(現地調達)とタッカーを併用して取り付けます。(タッカーのみでの取付けはしないでください。)

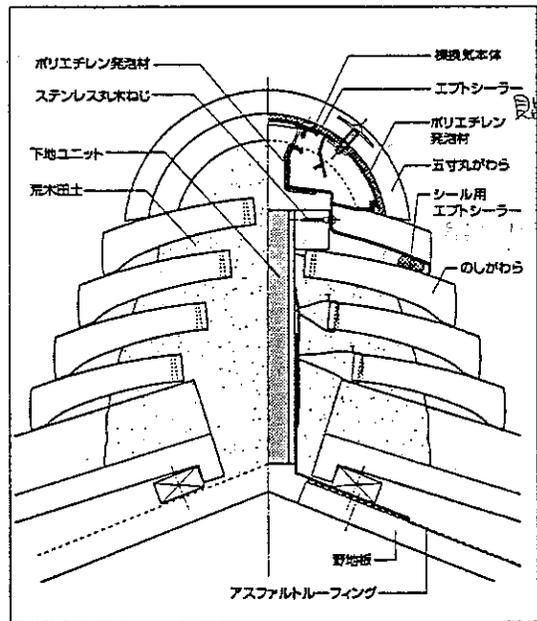
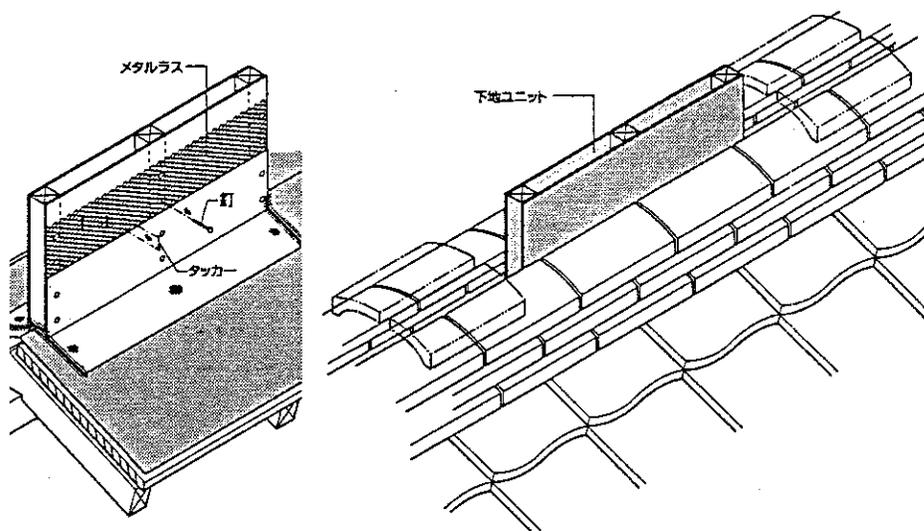
メタルラスの打付け位置は、現場に合わせて決めてください。

(一般的に多い五段積み場合は、下地ユニットの水切り板金上端よりメタルラスを取り付けると良い。)

換気孔取付け部の、のしがわらは、仕上げ段数より1段低くなりますので、のしがわらの施工は仕上げ段の手前までとします。

の部分の屋根材は、従来の方法で施工してください。

地ユニット部の、のしがわらの緊結は、既に取り付けたメタルラスを利用して行います。



## のしがわらの取付け

ットにかぶせるようにして納め、上からしっかりと押さえながら、丸木ねじ(φ3.1×20)で、本体側面から下地ユニットの横桟に取り付けます。

残りののしがわらを取り付けます。

末端に張り付けた気密シーラーを、ヒモ側でおおうようにして施工します。

する場合は、気密シーラーをはがして本体に差し込むようにして施工してください。

